

花ちゃん、オー君、モクセイ、フツクシのかくれんぼ対決してくる

国立市立国立第七小学校

平成29年9月29日 NO.51 (451)



ギンモクセイ (モクセイ科)

花ちゃん 「オー君！いよいよ秋あきですね。お空そらが真まっ青さおで気持ちいいですね。」

オー君 「そうだね。校庭こうていのコスモスも満開まんかいだね。コスモスってきれいなお花はなだね。」

花ちゃん 「そのとおり。わたし、コスモス大好きだいすき。ピンクのお花はながいっぱい咲さいて、
くにたちななしょう 校庭こうていは最高さいこうですね。」

オー君 「あれあれ？ねえねえ花ちゃん。とてもいいにおいがするけど何なにかな。」

花ちゃん 「そういえば、いいかおりね。気持ちよくなるし、心こころもやすらぐわね。何なにがあるのかな。どこからするのかな？そうだ。校庭こうていをてくてくして見みつけよう。」

オー君 「あ！あれだ。オレンジ色の小さな花がついている木だよ。」

花ちゃん 「思い出したわ。これはキンモクセイだわ。とてもよいかおりね。」

オー君 「モンタ博士にも教えてあげよう。」

花ちゃん 「モンタ博士！キンモクセイがとてもよいかおりです。」

モンタ博士「よく気がついたね。えらいね。そういうものに気がつくことが素晴らしいね。

ステキだね。秋になると風が気持ちいいね。あれこれと、秋の花が咲いて目を
楽しませくれるね。キンモクセイはモンタ博士もお気に入りの花なんだ。」

花ちゃん 「モンタ博士、キンモクセイというのは、ふだんはあまり自立たない木ですね。」

モンタ博士「そうだね。1年中葉っぱをつけている木であまり変化がないけど、花の時
だけ、この一週間くらいだけけど、そのすばらしさを見せてくれるね。」

オー君 「花はとても小さいけど、たくさんあるから、よいかおりがすんですね。」

モンタ博士「そうだ。このキンモクセイの花はオレンジ色だけど、白っぽい花あってね、
それを『ギンモクセイ』というんだよ。この前、ある所で見つけてね、
みんなに見せたくてもらってきたんだ。校長室前においとくから、キンモク
セイと見比べてごらん。何か気がつくことや大発見があるかもね。」

オー君 「キンモクセイがかおったり、コスモスがたくさん咲いたり、とてもいい季節で
すね。秋の虫の鳴き声もよく耳にするね。」

モンタ博士「そのとおりだね。いよいよ来週からは10月だね。」

花ちゃん 「まさに秋本番というところですね。」

モンタ博士「そうだね。カレンダーがめくりながら季節を知るのではなく、自然のいろい
ろな様子に気づいてほしいね。」

花ちゃん 「この国立七小の近くには、谷保天神の森もあれば、多摩川がつくったハケの
林もいっぱいですね。生き物もいっぱいですね。」

モンタ博士「これからも身のまわりの自然の姿にも目を注ぎ、すてきな感性を培ってほし
いと願っていますね。」

オー君 「ハイ！よくわかりました。みんなで楽しくてくしくしょう。」

花ちゃん 「みんなで、わくわくドキドキと、てくてくしていきましょう。」